

現代におけるチュチェ思想の生命力 研究普及活動の経験と教訓



オマール・ロペス

ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所副理事長

ベネズエラ・チュチェ思想研究全国協会会長

21世紀に入り、世界の人々はもっとも正しく、人道主義的で立派な、多極的な人間中心の新社会を建設する闘争で一連の挑戦と障害に直面しました。

その闘争は、資本主義が自らの構造上の危機による不可避な破滅へと走りながら全人類に災難をもたらしている中で行われており、これによって資本主義が野蛮な資本主義に、新自由主義政治が野獣的政治に見なされるのは当然なことであります。

現代の歴史は、この闘争のために万端の準備をしなければ政治的・経済的自主権を獲得していない国と人民が近いうちに、世界化された今日の世界を支配している経済的・軍事的列強の手先になるか、滅亡するようになるということを見せています。

闘争において自らの力と知恵、科学と技術を優先させた国は、これらの挑戦を乗り越えることができるでしょう。

さらに今日人類は、上述した挑戦とともに新型コロナウイルス感染症という悪性伝染病の挑戦も受けています。この大流行病の幅と形態から見ても上述のことが正当であることが分かります。国際機構の統計資料と数字、報告資料は、われわれに悪性伝染病にどのように対処すべきかをよく物語っています。

現実には、自分の能力と限界を正しく認識し、自らの力を強化してきた国々、自らの科学技術力を絶えず向上させてきた国々は、新型コロナウイルス感染症を成功裏に対処しているということを見せています。

以上、簡単な序論をしましたが、われわれは朝鮮人民の偉大な領袖である金日成閣下と金正日閣下が創始して発展豊富化し、金正恩閣下によって継承されているチュチェ思想の意義をもう一度深く考えなければなりません。

チュチェ思想があったがために、朝鮮民主主義人民共和国は核軍事強国になりえ、今日の大流行病の脅威から自らを守るために国境を封鎖し、他国との交易が制限されている中でも経済強国に向けた大きな歩みを踏み出すことができたのです。

朝鮮人民がいつも身に付けている力強い武器であるチュチェ思想は、このすべての挑戦を乗り越えるようにし、アメリカ帝国主義が70余年続けている封鎖と制裁にも打ち

勝つようにしました。

チュチェ思想は、朝鮮民主主義人民共和国とその指導者をして、国の社会政治、文化の各分野を新たに透視し、それに基づいて自らの歴史と文化、天然資源と人民大衆を対するに当たって徹底してチュチェ的なものを重視するようにし、1945年民族解放闘争の勝利後、新社会を建設するための闘争、ばかりでなく地球上もっとも横暴で強大な帝国主義の前で奇跡的な発展を誇示できるようにしました。

チュチェ思想があったがゆえに、アメリカ帝国主義の世界制覇の野望と干渉主義的な正体ははっきりと露呈され、朝鮮人民と世界の人民をして20世紀に、政治、経済、文化、科学、技術のすべての面でアメリカとその手先が追求した覇権的な世界化策動に立ち向かって堂々とたたかうようにしました。帝国主義の支配的本性は、今日21世紀に入って一層露骨になり、世界の広い地域で破壊と危機をもたらし、利潤と支配の野望によって地球そのものの存在を危険にさらしています。

金日成閣下と金正日閣下が創始し発展させたチュチェ思想の哲学的原理は今日、いつにもまして大きな生命力を発揮しており、資本主義の危機とその後腐れによる飢餓と貧窮、大流行病による深刻な保健危機、人間生活に不可欠な天然資源である水、土地、動植物の枯渇、人間の生命そのものを威嚇するあらゆる災難に対処して、政治的・文化的に生きていくようにする唯一の武器であります。

今日、人類を守る力強い武器であり、人民の自主権と尊厳を守る手段であるチュチェ思想の研究普及活動は、いつにも増して切実な問題として提起されます。

ともに朝鮮民主主義人民共和国の模範、すなわちチュチェ思想の旗の下に軍事経済強国建設を勝利的に進めて、世界人民の尊敬を受けている朝鮮の経験を宣伝しましょう。そして2021年1月に行われた朝鮮労働党第8回大会で示されたチュチェ思想で一貫された実践的構想を深く体得しましょう。

「社会主義建設の主體的な力、内的原動力を一段と強化し、各分野において偉大な新たな勝利を達成しようというのが朝鮮労働党第8回大会の基本思想、基本精神である」

朝鮮労働党第8回大会の決定書のこの短い文は、金正恩総書記が賢明に指導する社会主義朝鮮におけるチュチェ思想の生命力を示しています。